# 日商エレクトロニクス標準BPアセット内容リスト【NEO】

最終更新：v1.0.6(2020/8/20)

©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.

| オブジェクト名 | オブジェクト概要 | アクション名 | アクションの説明 |
|---|---|---|---|
| NEO - Windowsプロセス | 日商エレクトロニクスが作成した、Windowsプロセスに関する機能を提供するオブジェクトです。<br>標準のUtility - Environmentなどとの併用を前提としています。 | 終了待機（プロセス名指定） | 指定したプロセス名を持つプロセスを監視し、完全に終了する（プロセス一覧から消える）まで待機します。<br>「終了処理も実施」フラグをTrueにすることで、このアクションの中で対象プロセスを強制終了し、そのまま終了が完了するまで待機することも可能です。 |
| NEO - カレンダー | 日商エレクトロニクスが作成した、カレンダーに関する機能を提供するオブジェクトです。<br>ここでいうカレンダーとは「営業日」「曜日」「週」「年度」といった日付の集合を指します。<br>標準のカレンダーオブジェクトや計算ステージ関数との併用を前提としています。 | 営業日番号取得_月内 | 指定した日付が月初から（or月末から）何営業日目かを取得します。<br>指定した日付が営業日でない場合は0を返します。 |
| | | 営業日番号取得_週内 | 指定した日付がその週初から（or 週末から）何営業日目かを取得します。<br>指定した日付が営業日でない場合は0を返します。<br>※このアクションでは1週間は月曜日始まりとして計算されます。 |
| | | 営業日日付取得_月内 | 月内の営業日番号（月初or月末から数えて第何営業日か）を指定し、該当する営業日の日付を取得します。<br>年月の指定には「基準日」を利用し、基準日と同じ年月の中で計算を行います。<br>例えば「今月の第n営業日」が知りたい場合には、基準日にToday()を指定してください。<br><br>また存在しない営業日番号（例：20営業日しかない月の第21営業日）を指定した場合、「取得結果」の出力がFalseになります。 |
| | | 営業日日付取得_週内 | 週内の営業日番号（週初or週末から数えて第何営業日か）を指定し、該当する営業日の日付を取得します。<br>週の指定には「基準日」を利用し、基準日と同じ週の中で計算を行います。<br>例えば「今週の第n営業日」が知りたい場合には、基準日にToday()を指定してください。<br><br>また存在しない営業日番号（例：4営業日しかない週の第5営業日）を指定した場合、「取得結果」の出力がFalseになります。<br>※このアクションでは1週間は月曜日始まりとして計算されます。 |
| | | 第n指定曜日日付取得 | 基準日の月の第n回目の指定曜日（例：第2火曜日、第3水曜日）の日付を取得します。 |
| | | 次回指定曜日日付取得 | 指定された基準日より後で、最初の指定曜日の日付を取得します。 |
| | | 年度（4月始まり）取得 | 日付に対してその日が4月始まりの年度では何年度に当たるかの数値を返します。<br>入力は日付(Date)型ですが、日時(DateTime)型のデータを指定しても自動的に変換されるため問題ありません。 |
| | | 年度（4月始まり）でコレクションフィルター | コレクション内の日付または日時型で定義された列に対し、特定の年度（4月始まり）に当たる行を抽出します。月指定をした場合、該当年度の該当月のみを抽出します。 |
| NEO - コレクション | 日商エレクトロニクスが作成した、「コレクション」を扱う機能を提供するオブジェクトです。<br>標準のUtility - Collection Manipulationなどとの併用を前提としています。 | 転置（行→列） | 元コレクションの1列目の値を列名としたコレクションを作成し、元コレクションの2列目以降の値をデータ行として格納します。つまり、1列目に項目名、2列目以降に対応するデータ、という形式の表を、項目名をカラム名としたコレクションに変換できます。 |
| | | 2次元表の入れ子化（列優先） | 2次元の表を読み取って生成されたようなコレクション（最初の行と最初の列にそれぞれ項目名が存在し、両方に当てはまるデータが交差点に存在する形式）を、Blue Prismの計算ステージからアクセスしやすい入れ子のコレクションに変換します。<br>例えば列方向に2020年、2021年、2022年という項目名、行方向にA部署、B部署、C部署という項目名が付いたコレクションがあったとき、この変換を行うことで[コレクション名.2020年.A部署]という形で該当データを利用できます。<br><br>「元コレクションのヘッダを無視」フラグを切り替えることで、列の側の項目名が元コレクションのヘッダになっていても、元コレクションのヘッダが「Column1」などの無意味な名前になっており、実際の項目名が最初の行に格納されていても対応が可能です。<br><br>出力は元の表の列名がフィールド名となった単一行コレクションになり、各フィールドには更に各行の項目名がフィールド名になった単一行コレクションが格納されます。<br>（変換前後の表形式についてはこのアクションページ内のサンプルも参照） |
| | | 行・列の選択（Select） | コレクションから指定した条件でSelectを行います。列の絞込みや列順序の入れ替えが可能ですが、As句による再命名は使用できません。<br>Distinct(重複削除)、Order by(ソート順)、Where(フィルター条件)の指定もSQL文的に指定可能です。 |
| | | 該当行のカウント（Select Count） | コレクションから指定した条件でSelectを行い、結果の行数を返します。 |
| | | 重複行存在チェック | コレクションが重複した行を含んでいるか判定します。判定対象カラムを指定することで、特定の列のみに着目して重複判定することも可能です。 |
| | | 列順の入れ替え | 指定した2列の順番を入れ替えます。 |
| | | 列移動 | 指定された列を、移動先列の1つ前に移動します。 |
| | | 未設定チェック（日時型） | 日時型が未設定の状態をチェックします。<br>未設定だった場合、デフォルト値を設定することも可能です。 |
| | | 未設定チェック（日付型） | 日付型が未設定の状態をチェックします。<br>未設定だった場合、デフォルト値を設定することも可能です。 |
| | | 未設定チェック（時間型） | 時間型が未設定の状態をチェックします。<br>未設定だった場合、デフォルト値を設定することも可能です。<br>また未設定のデータは「0:00:00」に変換されることが多いため、オプションで「0:00:00」も未設定状態とみなすかどうか切り替えられます。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| NEO - データ未設定チェック | 日商エレクトロニクスが作成した、データアイテムの未設定状態をチェックする機能を提供するオブジェクトです。<br>未設定状態とは、BPのデータアイテムに何も値を入れていない状態を指します。<br>このようなデータアイテムを計算で使用した場合の挙動は型によって異なりますが、その恐れがあるデータは予めこのオブジェクトで判定することで、エラーや予想外の計算結果を防ぐことが出来ます。 | 未設定チェック（時間間隔型） | 時間間隔型が未設定の状態をチェックします。<br>※BPの時間間隔(TimeSpan)型には厳密な未設定状態が存在せず、未設定に見える場合は0日0時間0分0秒が設定されています。また意図的に0日0時間0分0秒を設定すると、データアイテムの変更画面では未設定状態に見えます。そのためこのアクションでは0日0時間0分0秒の場合、そのデータを未設定と見なします。<br>未設定だった場合、デフォルト値を設定することも可能です。 |
| | | 未設定チェック（フラグ型） | フラグ型が未設定の状態をチェックします。<br>未設定だった場合、デフォルト値を設定することも可能です。 |
| | | 未設定チェック（画像型） | 画像型が未設定の状態をチェックします。<br>未設定だった場合、デフォルト値を設定することも可能です。 |
| | | 未設定チェック（バイナリ型） | バイナリ型が未設定の状態をチェックします。<br>※BPのバイナリ型には厳密な未設定状態が存在しません。データサイズが0Byteの場合、未設定と見なします。<br>未設定だった場合、デフォルト値を設定することも可能です。 |
| | | 未設定チェック（文字列型） | 文字列型が未設定の状態をチェックします。<br>※BPの文字列(Text)型には厳密な未設定状態が存在せず、未設定に見える場合は空文字が設定されています。そのためこのアクションでは文字列の長さが0の場合、そのデータを未設定と見なします。<br>未設定だった場合、デフォルト値を設定することも可能です。 |
| | | 未設定チェック（パスワード型） | パスワード型が未設定の状態をチェックします。<br>※BPのパスワード型には厳密な未設定状態が存在せず、未設定に見える場合は空文字が設定されています。そのためこのアクションでは文字列の長さが0の場合、そのデータを未設定と見なします。<br>未設定だった場合、デフォルト値を設定することも可能です。 |
| | | 未設定チェック（数値型） | 数値型が未設定の状態をチェックします。<br>未設定だった場合、デフォルト値を設定することも可能です。<br>また未設定の数値は0に変換されることが多いため、オプションで0も未設定状態をみなすかどうか切り替えられます。 |
| | | 未設定チェック（コレクション型） | コレクションが未設定の状態をチェックします。<br>※BPのコレクションは厳密な未設定状態が存在せず、何も設定していない状態＝0行0列のコレクションです。また現在値に列設定だけが存在し、行数が0のコレクションも見た目では見分けられません。このアクションでは原則0行0列のコレクションを未設定と扱いますが、オプションとして列設定があったとしても0行のコレクションは未設定とみなすことができます。<br>未設定だった場合、デフォルト値を設定することも可能です。 |
| NEO - ファイル | 日商エレクトロニクスが作成した、Windowsのファイルに関する機能を提供するオブジェクトです。<br>標準のUtility - File Managementなどとの併用を前提としています。 | テキスト読込（文字コード指定） | 指定された文字コードで記述されたファイルから、テキストを読み込みます。指定可能な文字コードの名前は.NetフレームワークのEnconding.GetEncodingメソッドに準じます。 |
| | | テキスト書込（文字コード指定） | 指定された文字コードで、ファイルにテキストを書き込みます。指定可能な文字コードの名前は.NetフレームワークのEnconding.GetEncodingメソッドに準じますが、省略することでBOM無UTF-8で書込むこともできます。※標準のutf-8はBOM付 |
| | | ファイル名変更 | 対象ファイルの名前を変更します。ファイル名変更はUtility - File Management の Move File で同フォルダの別名ファイルへと移動することでも実現できますが、こちらはフォルダの移動を行えない代わり、移動先にフルパス指定を必要としません。 |
| | | 拡張子分割 | 対象ファイルの名前を変更します。ファイル名変更はUtility - File Management の Move File で同フォルダの別名ファイルへと移動することでも実現できますが、こちらはフォルダの移動を行えない代わり、移動先にフルパス指定を必要としません。 |
| | | ファイル数カウント | ディレクトリ内に指定されたパターンのファイルが何個あるかを返します。ファイル存在チェックのようにも使えますが、存在した場合結果的に読込が必要な場合は二度手間になるため、Utility - File Management の Get Files を最初から使用することを推奨します。 |
| | | 画像読込 | 画像ファイルからImage型のデータを取得します。<br>対応フォーマット：bmp,gif,jpeg,png,tiff |
| NEO - ワークキュー | 日商エレクトロニクスが作成した、ワークキューに関する機能を提供するオブジェクトです。<br>標準のワークキューオブジェクト（内部オブジェクト）との併用を前提としています。 | キューに追加（新規のみ） | キューデータのコレクション(複数行可)から、ワークキューに既に存在しない（キー項目が重複しない）アイテムだけを追加します。キューのキー項目がText型の場合にのみ対応しています。 |
| | | キューに追加（重複時エラー） | キューデータのコレクション(複数行可)をキューに追加しますが、１つでも既存アイテムとキーが重複する場合、一切追加を行わずに例外を発生させます。キューのキー項目がText型の場合にのみ対応しています。 |
| NEO - 印刷 | 日商エレクトロニクスが作成した、印刷に関する機能を提供するオブジェクトです。<br>プリンタに依存しない部分のみを担当するため、個別のプリンタソフトに依存する設定や認証などが必要な場合は、別途専用のオブジェクトを作成してください。 | 既定のプリンタを取得 | 実行環境にて、規定のプリンタ（「通常使うプリンター」などと表記される）に指定されているプリンタ名を取得します。 |
| | | 既定のプリンタを指定 | 実行環境にて、規定のプリンタ（「通常使うプリンター」などと表記される）を、指定されたプリンタ名に変更します。既定のプリンタは、特にプリンタを指定せずに印刷を行ったとき自動的に利用されるプリンタになります。 |
| | | ファイルの印刷開始 | 指定されたファイルの種類に応じて、そのファイルを印刷するための規定のアプリケーションを用いて印刷を実行します（ファイルの右クリックメニュー⇒印刷と同等）。使用されるプリンタは実行環境の既定のプリンタです。既定のプリンタがダイアログを出力する場合（典型例：XPSやPDFとして印刷時の名前を付けて保存ダイアログ)、ダイアログの操作は別途行う必要があります。 |
| | | 画像データの印刷開始 | 画像データを印刷します。複数の画像を同時に指定することで、まとまった１つの書類として印刷することが可能です（両面印刷や小冊子向け）。印刷に使われるプリンタは実行環境の既定のプリンタです。既定のプリンタがダイアログを出力する場合（典型例：XPSやPDFとして印刷時の名前を付けて保存ダイアログ)、ダイアログの操作は別途行う必要があります。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| NEO - 演算 | 日商エレクトロニクスが作成した、汎用的な演算機能を提供するオブジェクトです。<br>頻繁に登場する計算・判断処理を共通化することを目的としています。 | 条件演算（文字列） | 出力がテキスト型の条件(三項)演算を行います。<br>すなわち、ある条件が満たされる場合A、満たされない場合B、という代入作業を1アクションで実施します。 |
| | | 条件演算（数値） | 出力が数値型の条件(三項)演算を行います。<br>すなわち、ある条件が満たされる場合A、満たされない場合B、という代入作業を1アクションで実施します。 |
| | | 条件演算（コレクション） | 出力がコレクション型の条件(三項)演算を行います。<br>すなわち、ある条件が満たされる場合A、満たされない場合B、という代入作業を1アクションで実施します。 |
| | | 剰余計算 | 剰余（値1を値2で割った余り）を求めます。 |
| | | 四捨五入 | 四捨五入を行います。Blue Prismの計算ステージでもRoundが使用できますが、Roundは銀行丸め（値が丁度中間のとき結果が偶数になるよう丸める）のため、厳密に四捨五入が必要な場合はこちらを利用してください。 |
| NEO - 汎用Excelフォーマット | 日商エレクトロニクスが作成した、汎用的な（多数の業務に同じ形式が登場するような）フォーマットのExcelファイル操作を提供するオブジェクトです。<br>対象とする形式はアクションによって異なるため、各アクションの説明を参照してください。 | 「項目名：値」の読込 | 項目名を意味する列と、それに対応する値が格納された列をそれぞれ含むExcel表を、項目名の部分をコレクションのヘッダ、値の部分を各フィールドの値とする単一行コレクションとして読み込みます。<br>それぞれどの列が項目名と値に該当するのかを指定すれば、元のExcelにそれ以外の列が含まれていても無視することができます。 |
| | | 2次元表（列優先）の読込 | 2次元表（最初の行と最初の列がそれぞれ項目名になっている表）のうち、列に設定された項目名が行よりも優先される（より大きなくくりでの分類になっている）ものを、入れ子になったコレクション形式で読み込みます。<br>出力は元の表の列名がフィールド名となった単一行コレクションになり、各フィールドには更に各行項目がフィールド名になった単一行コレクションが格納されます。<br>変換の詳細については内部で利用しているオブジェクトの「NEO - コレクション」も参照してください。 |
| NEO - 文字列 | 日商エレクトロニクスが作成した、文字列に関する機能を提供するオブジェクトです。<br>標準のUtility - Stringsなどとの併用を前提としています。 | 区切り文字で分割（単一行） | 文字列を指定された区切り文字で分割し、1列のコレクションに変換します。分割の際、区切り文字前後の空白をトリムしたり、ダブルクォーテーションで囲まれた部分を1連の値をみなし（その中に区切り文字が含まれても区切りとみなさず）、ダブルクォーテーションを取り除くこともできます。単一行のテキストを扱うことしか想定していないため、複数行のテキストを2次元のコレクションに変換する場合は「区切り文字列のコレクション化」を利用してください。 |
| | | 区切り文字で分割（複数行） | 文字列を指定した区切り文字と改行で分割し、元のテキストの1行＝コレクションの1行の形式でコレクションへの変換を行います。<br>デフォルトの設定では標準機能のGet CSV As Collectionと同等の処理を行いますが、区切り文字の変更やトリム設定の切り替えなどが可能になっています。<br>例えば区切り文字にChr(9)を指定することでタブ区切り文字列（TSV)の分割が出来ます。 |
| | | 正規表現で分類（コレクション） | コレクションの各行に対し、指定された項目（テキスト型）が正規表現パターンにマッチするかどうかを判定し、マッチした行としなかった行に分類した結果を出力します。 |
| | | 正規表現で分類（区切り文字列） | カンマなどで区切られた文字列のそれぞれの値を正規表現で評価し、マッチしたものとしなかったものに分類したコレクションを出力します。<br>単一行の区切り文字列にしか対応しないため、より複雑な処理を行いたい場合は「分割（複数行）」アクションと「正規表現で分類（コレクション）」などを組みあわせて実現してください。 |
| | | 編集距離（相違度）の計算 | 文字列間の編集距離（レーベンシュタイン距離）を求めます。レーベンシュタイン距離とは文字列の相違度を表す数値のことで、一方の文字列を他方の文字列と等しくするために必要な操作（挿入・削除・置換）の数で定義されます。文字列が等しい場合、操作不要なので0。一文字異なる場合は、一操作必要なので1となります。文字列が異なれば異なるほど、値が大きくなります。<br>正規化フラグをTrueにした場合、距離を長い方の文字列長で割ることで、全体から見た相違部分の割合（0～1）を返します。ただし、2つの文字列がどちらも空文字（長さ0）の場合は正規化フラグと無関係に0を出力します。 |
| | | 表記統一（半角全角） | 指定された文字列中に存在する半角と全角の区別が存在する文字を、全てどちらかに統一します。 |
| | | 表記統一（アルファベット大文字小文字） | 指定された文字列中のアルファベットを全て大文字または小文字に統一します。 |
| | | 表記統一（ひらがなカタカナ） | 指定された文字列中のひらがなとカタカナを全てどちらかに統一します。 |
| | | 表記統一（小文字仮名の大文字化） | 指定された文字列中に小文字のひらがなやカタカナが存在した場合、対応する大文字の仮名を使うよう表記を統一します。<br>（例：ぁ、ｨ、ｩ⇒あ、イ、ｳ） |

## 日商エレクトロニクス標準BPアセット内容リスト【NEEX】

©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.

| オブジェクト名 | オブジェクト概要 | アクション名（NE拡張分のみ） | アクションの説明 |
|---|---|---|---|
| NEEX - MS Excel | BP公式の「BPA Object - MS Excel」を元に、日商エレクトロニクスが拡張機能を追加したオブジェクトです。<br>オリジナルのオブジェクトの機能を全て含むため、同じプロセス内で併用せず単独で利用してください。 | Set Timeout | 各アクションで利用されるタイムアウト時間を一括で変更します。<br>このオブジェクトを利用するプロセスの最初に一度呼び出せば、その後に実行したアクションは全てここで設定したタイムアウト時間を利用するようになります。<br>ただしサブプロセスやオブジェクトから更にこのオブジェクトを呼び出す場合には、設定は引き継がれないため呼び出し元ごとに設定が必要です。 |
| | | Open Workbook With Options | Excelワークブックを、指定可能なオプションを全て指定して開きます。<br>パスワード付きExcelに予めパスワードを指定して開くなどの用途があります。<br>各オプションは省略すれば妥当な挙動となる初期値が設定されているため、変更したいオプション以外は指定しなくて構いません。<br>各オプションに指定可能な値は、入力パラメータごとの説明欄または以下を参照してください。<br><br>https://docs.microsoft.com/ja-jp/office/vba/api/excel.workbooks.open |
| | | Copy And Paste With Options | Excel間のコピー＆ペースト時に指定可能な全てのオプションを指定して、コピー＆ペーストを行います。<br>各指定を省略した場合には、通常のPasteアクションと同等の動作をします。<br>PasteTypeについてはこのアクションの前提条件欄もしくは以下のリンクを参照してください。<br><br>https://docs.microsoft.com/ja-jp/dotnet/api/microsoft.office.interop.excel.xlpastetype?view=excel-pia |
| | | Set Calculation Mode | Excelの再計算設定(自動/手動)を切り替えます。<br>※手動⇒自動に戻すと、その場で再計算が実施されます。 |
| | | Write Collection (Fast) | 指定されたコレクションをExcelに書き出します。標準のWrite Collectionと違い、全コレクションをまとめて書き出すため高速ですが、一度に使用するメモリ量が多くなる可能性があります。 |
| | | Set Autofilter Range | 指定ワークシートのオートフィルター範囲を設定します。既存のオートフィルターが存在する場合でも、このアクションで指定した範囲に変更します。 |
| | | Set Autofilter Values | 指定ワークシートに表示値指定型のオートフィルター条件を追加します。ワークシートにオートフィルター範囲が設定されていない場合、Excelが自動的に範囲を設定しますが、原則"Set AutoFilter Range"アクションにて予め設定することを推奨します。 |
| | | Remove Autofilter | 指定ワークシートのオートフィルター状態を解除します。ワークシートにオートフィルターが設定されていない場合、何もしません。 |
| | | Protect Sheet | 指定されたワークブックのシートを「シートの保護」機能を用いてパスワード保護します。<br>※解除にはUnProtect Sheetを利用してください。 |
| | | UnProtect Sheet | 指定されたワークブックのシート保護を解除します。<br>※保護にはProtect Sheetを利用してください。 |
| | | Refresh PivotTables | ピボットテーブルの内容を更新します。ワークシート指定を省略した場合、そのブック内の全ピボットテーブルを対象にできます。<br>ピボットテーブルはExcel側の設定で、ファイルを開く際に自動更新するようにもできるので、利用前に設定で対応することも検討してください。 |
| | | Break All Excel Links | 対象ワークブック内に含まれる外部ブック参照のリンクを全て解除します。 |
| | | Add Comment | 指定したセルにコメントを追加します。<br>既にコメントが存在するセルに対しては、コメントを追加できません。 |
| | | Convert Formula | Excelセル座標を含む式（単一の座標も可）の形式を変換します。<br>A1形式とR1C1形式の相互変換と、列や行の相対参照/絶対参照切り替えが可能です。 |
| NEEX - POP3/SMTP | BP公式の「BPA Object - Email - POP3_SMTP」を元に、日商エレクトロニクスが拡張機能を追加したオブジェクトです。<br>オリジナルのオブジェクトの機能を全て含むため、同じプロセス内で併用せず単独で利用してください。 | Get Message (Advanced) | POP3プロトコルにて指定したメッセージIDの詳細を取得します。<br>通常のGet Messageの機能に加えてTo, Cc, ReplyToに指定されたアドレスの一覧と、In-Reply-Toに記述されたMessageIDを取得可能です。 |
| | | Send Message (Advanced) | SMTPプロトコルでメールを送信します。デフォルトのSend Messageに加えてCC, BCC, ReplyToの指定が可能です。 |

# 日商エレクトロニクス標準BPアセット内容リスト【NET】

©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.

| プロセス・オブジェクト名 | 説明 |
|---|---|
| NET - プロセステンプレート | 日商エレクトロニクスが作成した、全プロセスに共通して実装すべき処理を予め組み込んだテンプレートです。<br>基本的な設計思想はBP公式のProcess Template - Basicに準拠しています。<br>MainPageは変更する必要がないように作成されているため、個別の開発時には各サブページを編集してください。<br>色分けや命名は以下の基準で実施されています。特に「灰色の注記」に関してはプロジェクト※で実際に使用を始める前に検討し、カスタマイズすることを想定しているため注意してください。<br>※プロジェクト＝BPを推進し、開発ルールを共有する組織体<br><br><データアイテム・ステージ><br>黒色：特別な事情が無ければテンプレートのまま利用が可能なもの<br>青色：初期値や入出力を利用者が検討すべきもの<br>灰色：サンプルのため不要なら削除、そのまま利用する場合でも文字色を黒に変更すること<br><br><注記><br>青色：利用者が処理を実装しなければいけない部分<br>緑色：テンプレート利用者向けの注意・アドバイス<br>灰色：テンプレート自体の個別プロジェクト向けカスタマイズ用コメント※<br>※カスタマイズしたらこのタイプのコメントは消してしまってよい<br><br><ページ名><br>★が付いているもの：サンプルのため利用者が必要に応じて削除orページ名を変更する<br>付いていないもの：テンプレートとして必須のページ、削除やページ名変更しない |
| NET - メール送信オブジェクトテンプレート | 日商エレクトロニクスが作成した、メール送信関連の共通機能を実装したオブジェクトのテンプレート（サンプル）です。<br>プロジェクトごとにその環境のルールに合わせた改修を行うことを前提としています。<br>灰色のコメントはプロジェクトに応じてカスタマイズすべき場所を示すため、カスタマイズ後は削除して構いません。<br>また青色のステージはカスタマイズ後も残る想定ですが、カスタマイズ時に名前や参照の変更が必要なことを意味します。 |
| NET - 画面操作オブジェクトテンプレート | 日商エレクトロニクスが作成した、画面操作を行うオブジェクトに共通で実装すべき処理をまとめたテンプレートです。<br>青字のステージやデータアイテムは、開発者が内容を毎回確認・検討すべき部分を示しています。 |